

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3890100112
法人名	社会福祉法人ともの家
事業所名	ともの家 湯の山
所在地	松山市湯の山6丁目4-8
自己評価作成日	平成22年1月14日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年2月1日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

今年2月か3月には、新しいホームに移転します。全員が引越し新しい場所でのスタートです。利用者、ご家族と共にみんなで居心地よいホームを作っていきたいと思っております

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

毎月の職員会議では、日々のケアについて意見を出し合い話し合われている。年末に行われた法人内事業所合同の職員会議では「今年の製作・アイデア賞」の発表があり、事業所の職員が考案・製作した「移動イス」と「足高こたつ」が受賞し、職員には金一封が贈られた。又、職員全員が法人内の四つある委員会の何れかに所属し、事業所のサービスの質向上に向けて取り組んでおられる。

職員は、法人内・外で「ターミナルケア」の研修を受けておられる。昨年、看取りを支援された利用者の方は、「家に帰りたい」とのご本人の思いを大切にご家族とも話し合い、最期はご自宅に戻られた。職員は、毎日交代で、ご本人のご自宅を訪問して、ご家族・医療機関・訪問看護師と連携して、看取られた。ご家族は「ともの家だより」を通じて感謝の思いを寄稿されている。

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

#### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 ともの家 湯ノ山

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏名

吉田 真紀子

評価完了日

22 年 1 月 14 日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 毎月の職員会議等で理念の共有をし、それに基づき年、月の目標をたて実践につなげている (外部評価) 法人の運営理念に基づき、職員で事業所の21年度の年間目標を「介護行為の都度、感謝の気持ちを伝えよう。スタッフ間のチームワークを徹底しよう。介護計画に基づいたケアの実践」と決められた。さらに職員は、年間目標に沿って月目標を決め、毎月の職員会議で実践状況の振り返りをされながら、理念の実践に努めておられる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 地域の文化祭で写真やパネルの展示をし、運営推進会議への参加を呼びかけ、近隣の方々の出席を得た (外部評価) 天気が良ければ近くの公園に出かけ、近隣の人達とあいさつを交わしたり、毎年、団地の大掃除や夏祭りには、利用者もともに参加されている。又、事業所の餅つきの際には、近所の方も手伝いに来て下さる。毎年、団地の文化祭には事業所から写真パネルを展示して、地域の方達に認知症のことや事業所について理解が広がるように努めておられる。法人の系列事業所での「夏祭り」の際、利用者は「各自各流」に盆踊りの輪に入り踊られ「声を出して笑う」ような場面もあり、ご家族や地域の方、系列事業所の人達とともに楽しまれた。	事業所は、2月末に法人系列事業所の隣接地に移転が決まっている。すでに法人と地域とのつきあいのある場所への移転ではあるが、貴事業所、又、利用者個々が移転した地域でも馴染んでいけるような取り組みをすすめていかれてほしい。又、今まで築かれた団地の人達とのつながりも大切にしていかれてほしい。
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 運営推進会議時に市役所介護保険課の方に、介護保険制度の説明会をして頂き、近隣の方にも参加して頂いた (外部評価) 文化祭では、認知症とは？のパネルを掲示している	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	(自己評価)	
			<p>地域の方の参加も少しずつ増え、ご家族を交えての意 見交換が出来るようになり、そこでの意見を職員会議 で再度確認しサービスの向上に活かすよう努めている</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる</p>	(外部評価)	
			<p>ご家族が来られる25日の「掃除デー」の日に会議を開 催して、ご家族が出席しやすいようにされている。年 に2～3回は、法人内4系列事業所合同で行う行事の実 際や新人研修の様子等を見学していただき感想をいた だくようにされている。「利用者（ご本人）と一緒に 散歩によく行く近くの公園の入り口がバリアフリー化 されたら助かる」等のご家族からのご意見等を民生委 員の方が「本部」に届けてくださっている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	(自己評価)	
			<p>法人内の研修は下より職員全員が正しく理解しており 拘束のないケアを実践している</p>	
6	5		(外部評価)	
			<p>夜間以外は、出入り口に施錠せず、利用者が気ままに 出かけられる時は、職員が後から付いて行かれ、利用 者が「ふと立ち止まれた」際に、声掛けをされる 等、タイミングを見ながらご本人が納得をしてホーム に戻るよう支援されている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)	法人内の研修で学習し職員間でも常に話し合い相談しあえるようにしている
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)	法人内研修を行い学習する機会を設けた。他に外部研修の参加学習も積極的に奨励している
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)	利用相談があった時は、施設見学や体験入所などを勧め、時間をかけて契約に関する説明などを行い慎重に対応している
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)	利用者やご家族の意見や要望はそのつどお聞きし、職員間で話し合い運営に反映させるよう努めている
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎月開いている内部研修や職員会議等で、職員から出た意見や提案を積極的に取り上げ運営に反映させている (外部評価) 毎月の職員会議では、日々のケアについて意見を出し合い話し合われている。年末に行われた法人内事業所合同の職員会議では「今年の製作・アイデア賞」の発表があり、事業所の職員が考案・製作した「移動イス」と「足高こたつ」が受賞し、職員には金一封が贈られた。又、職員全員が法人内の四つある委員会の何れかに所属し、事業所のサービスの質向上に向けて取り組んでおられる。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 資格取得者に対しては資格手当が付き、法人に貢献した者には、それなりの処遇があり、各自が向上心を持って働ける職場である	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 新人研修や毎月の内部研修の実施、外部研修を奨励援助し、個人の資格取得も応援している	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 地域のケア会議やグループホーム交流会があり、会場を持ち回りにし、それぞれのホームで意見の交換を行い、行事にも参加させて頂いている	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 入居と同時に全職員・ご家族でケアカンファレンスを行いご本人の声をできるだけ詳しく傾聴し、安心を確保するための関係づくりに努めている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ケアカンファレンス以外でも、こまめに連絡を取り信頼関係が築けるように努めている</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご本人とご家族の思いを受け止め、まず必要としている支援を見極め対応している</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>職員は、日常生活が学習の場となっている。言葉、表情、行動など触れ合いの中から学び支えられていることを感謝している</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>当法人は、ご家族をケアパートナーと位置づけている。双方からご本人を支えていく関係を築いている</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日々の話しかけの中に、馴染みの名前や地名を意識していれば友人や知人の訪問も歓迎し、ご家族と一緒にふるさと訪問を実施している</p> <p>(外部評価)</p> <p>なじみのタクシーで行きつけの美容院に出かけることを続けられるよう支援されている。法人系列事業所で開催される「習字・生花・お菓子作り」のクラブ活動に、週一回ご家族と参加される方もある。遠くにお住まいのご家族が来訪された際には、ご本人のお部屋に泊まることもある。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価)  共有の場所にソファや炬燵を置き、それぞれが集えるようにしている	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価)  ターミナルケア最終段階で退所された方の自宅に、勤務外の職員が毎日通い、ご家族と協力して最期までケアさせて頂いた	
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)  ご本人、又はご家族にお話を聞き、その思いや願いを把握するように努めている。集めた情報は、職員間で共有しケアプラン立案にいかしている	
			(外部評価)  職員は、日々の利用者との関わりの中で知り得た個々の情報を「ケース記録」に記入し、全職員が記録に目を通して情報の共有に努めておられる。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)  一人ひとりの背景を出来るだけ詳しく知り、ケアプラン見直し時に、これまでの経過を把握し、新しく得た情報を加えるようにしている	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価)  一人ひとりに合わせた暮らしをして頂いている	



自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	
			日々のケアの中での気づきなどを、職員間での出し合い、ご家族と相談しながら、何が必要かということを考えケアプランを作成している	
			(外部評価)	
			ご家族を「ケアパートナー」と位置付け、利用者個々の介護計画を「幸せプラン」と考え、ご本人の意向等を踏まえて介護計画を作成されており、ご家族と外出するような計画やご家族と一緒に自室のタンスの整理を行えるような計画を作成しておられた。毎月の職員会議でモニタリングを行い、見直しは3ヶ月に一回、重度の方は6ヶ月に一回、状態変化時はその都度、見直しするようになっている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)	
			関わった職員が、個人記録に記入し、職員間で情報を共有し実践等に活かしている	
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	
			当法人の三事業所を行き来し交流をはかったり、当法人の小規模多機能施設のクラブ活動に参加して頂いたり、柔軟な対応を心がけている	
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	
			年二回の防災訓練時に消防署員の協力を得、地域の文化祭や祭りに参加、スーパーでの買い物、美容室の利用などで、地域との繋がりを持てるように支援している	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価)  毎月一回主治医による往診があり、気になる事柄を往診ノ ートに書き込みアドバイスを頂いたり、必要に応じて血液検査 や健康相談をして頂いている。ターミナルケアの方には、訪 問診療との連携も取れている	
			(外部評価)  かかりつけ医は、ご本人やご家族の希望する医療機関にか かっておられ、ご家族が付き添われたり、ご家族のご都合に よっては職員が同行することもある。訪問歯科を利用されて いる方もある。協力医療機関や事業所の看護師は、24時間電 話で相談が出来るようになっている。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価)  利用者の変化や気になること等は、看護職員にいつ でも相談でき、その時の状態に合わせて対応できるよ うにしている	
			(外部評価)  ご家族と共に病院関係者との情報交換や相談に努めて いる	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている	(自己評価)  ご家族と共に病院関係者との情報交換や相談に努めて いる	
			(外部評価)  ご家族の希望をお聞きし、管理者と看護職らが中心となり、 話し合いをもち、職員全員で方針を共有するようにしてい る。昨年ターミナルケアを実践し、ご本人の希望通り、最期 の一週間自宅で過ごされ、ご家族に看取られて逝かれた事例 がある	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)  ご家族の希望をお聞きし、管理者と看護職らが中心となり、 話し合いをもち、職員全員で方針を共有するようにしてい る。昨年ターミナルケアを実践し、ご本人の希望通り、最期 の一週間自宅で過ごされ、ご家族に看取られて逝かれた事例 がある	
			(外部評価)  入居時に希望があれば最期まで支援できることを説明され、 段階に応じてご家族に意向を確認されている。職員は、法人 内・外で「ターミナルケア」の研修を受けておられる。昨 年、看取りを支援された利用者の方は、「家に帰りたい」と とのご本人の思いを大切にご家族とも話し合い、最期はご自 宅に戻られた。職員は、毎日交代で、ご本人のご自宅を訪問 して、ご家族・医療機関・訪問看護師と連携して、看取られ た。ご家族は「ともの家だより」を通じて感謝の思いを寄稿 されている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 主治医及び看護師による内部研修があり、職員は実践力を身につけている	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 防災訓練を定期的に行い、地域の方に避難場所の確保など協力して頂いている。法人内の職員が、地域防災士としての講習を受け、防災士となり内部研修会で、水害、地震などの注意点を報告した  (外部評価) 運営推進会議時、地域の方や隣近所の方、ご家族も参加して防災訓練が行われた。利用者役のご家族を安全に避難させるような訓練もされた。その際に消防署から「まず2階の方の避難を優先して」とのアドバイスをいただいた。「いざという時には窓を割って中に入れてもいいか」というような参加者からの意見もあった。	管理者は「移転先の事業所の屋上に、万一、火災が発生した場合に近隣住民に救助を求めるサイン（緊急警報拡声器）を設置する予定である」と話しておられた。新しい環境にもなり、さらに、災害のいろいろな場面を想定した避難訓練を重ねられ、利用者、職員の安全や安心に向けて取り組みをすすめていかれてほしい。
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 職員は法人の接遇態度、援助のチェックポイントに基づき一人ひとりの思いを大切に、サービスの提供を行っている。介助の後には、必ず感謝の言葉を伝えている  (外部評価) 管理者は、職員に「ゆっくり、やさしく、ていねいに、無理強いはいしない」「ケアの前には声掛けをする」こと等、大切にしてほしいことを話しておられる。調査訪問時、職員はご自分の手を温めてから利用者に声をかけて、介助されている場面がうかがえた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) その都度ご本人の意思を尊重している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)  散歩に行かれたり、お部屋で休まれたり、その方に合わせた支援をしている	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価)  ご自分でされる方には声かけや見守りをし、そうでない方も外出の時には、その方に合ったおしゃれをして頂いている	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価)  職員と一緒に台所に立ち、野菜きり、盛り付け、片付けなどして頂いている。出来ない方には、献立の食材を手を持って頂いたり、匂いを嗅いで頂いたり五感を感じて頂いている	
			(外部評価)  調査訪問時、エプロンを掛けた利用者が職員と一緒に台所に立ち、昼食のいなり寿司を作っておられた。又、寿司飯をうちわで扇ぎ、味見をされている方もあった。昼食時は、童謡が静かに流れており、個々がご自分のペースで食事をされていた。食後には、ご自分の食器を洗っておられる方もあった。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価)  健康チェック表で摂取量を確認し、個々に合わせてミキサー食にしたり、トロミやゼリー、捕食なども用意し提供している	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価)  ご自分でされる方には声かけや見守りをし、そうでない方は介助させて頂いている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 日中は、全員トイレにて排泄していただいている。一人ひとりの状態を把握している (外部評価) 日中は布パンツで過ごすことができるよう、利用者個々の排泄のパターン等を把握して、誘導等の支援をされている。トイレにパットを常備して、ご自分のものと分かるように名前を貼ったことで、ご自分で交換され始めた利用者がある。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 牛乳、ヨーグルト、食物繊維の多い食品を積極的に取り入れ、水分摂取も一人ひとりに合わせ、家事、体操、散歩などの軽い運動で自然排便に努めている	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) いつでも入浴できるように朝からお風呂の準備をし、一人ひとりに合わせて支援している (外部評価) お風呂を毎日沸かして、利用者の希望等をお聞きしながら支援されている。脱衣場のカレンダーで入浴された日をチェックして、週に2～3回は入ることができるように声をかけておられる。介護度が重度の利用者も浴槽でゆっくり温まることできるよう支援されており、柚子湯や菖蒲湯等、季節感も大切に支援されている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 日中、日光浴や散歩、軽い運動を行い、夜間安眠出来るように支援し、また居室内の温度や湿度にも気をつけている。日中も、一人ひとりに合わせた休息をして頂いている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬に関しては、医師や看護師から説明を受け、職員全員が把握し、服薬のチェックも複数の職員で行っている	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) これまでの趣味や特技をいかした、一人ひとりに合わせたケアプランの実践を通し日々楽しく過ごせるように支援している	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 花見、遠足、運動会等法人の行事には、ご家族の参加もある毎日散歩に行かれる方も居られ、一人ひとりに合わせた支援をさせて頂いている	
			(外部評価) 天気を見ながら、散歩に出かけたり、ホームの庭で日向ぼっこをされている。法人系列事業所で行われる合同行事の「焼き肉パーティ」「琴の演奏会」「敬老会」等にも出かけ、系列事業所の利用者や職員と交流されている。秋には法人合同で「元気組」と「ゆっくり組」に分かれて、ご家族も一緒に遠足に出かけられた。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 地域や法人の催し時に、花や菓子などをご自分で選び、買い物代金を支払って頂く様にしている	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) ご自分で出来る方は、いつでもして頂き、出来ない方の支援として、贈り物などを、お話ししながら目の前で開け、手紙を読ませていただき、お礼の電話をかけ、声を聞いていただいたり、手紙の代筆をさせて頂いている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>季節の花を生けて頂き、居間や玄関に飾り、ご家族からの絵手紙なども飾らせて頂いている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居間には椅子に腰かけて利用できる「足高こたつ」がある。壁面には手作りの大きな日めくりや利用者の書き初めの作品、又、行事やご家族とご一緒の写真が飾られていた。調査訪問中には、居間で利用者が口ずさむ童謡や、職員と利用者の歌声が聞こえてきた。浴室やトイレは大きな文字で表示されており、2階のトイレは夜間電気をつけて開けておられ、内側にトイレと書いてあり、夜間でもトイレの場所が分かりやすいようにされている。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>ご自分専用の居場所があり、また好きなところで過ごせるように炬燵やソファを置いている</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>基本的に居室作りは、ご家族にお願いしている。ご家族の写真や趣味の品を飾っている</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご本人の俳句集を職員は時折、一緒に読まれたり、愛用されていた大正琴に触るような場面を作っておられる。転倒時、衝撃が少ないように床にマットを敷き、壁の角にも配慮をされている部屋があった。毎月25日の「掃除デー」に、ご家族と居室の掃除をされる方もある。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>民家型の建物なので普通の家と同じようにしているが、洗面所やトイレなどには、貼紙をし解るようにしている</p>	